

# あの街から学ぶ しおじりの明日

## 平成29年度常任委員会等視察報告

平成29年度は、総務生活・福祉教育・産業建設・議会基本条例推進委員会 広報部会の4つの委員会が、次のとおり各地の先進事例の視察を行いました。  
※詳細は順次ホームページに掲載します。

### 総務生活委員会

平成29年10月16日～18日

#### 釜石「オープンシティ戦略」 (岩手県釜石市)

震災以降ハードウェアの復興から暮らしへの再生がすみ、持続可能な町づくりへと挑戦しています。そのため、市外から積極的に人を受け入れ、その「釜援隊」というフーリアランスのコーディネートたちが、あらゆる分野で活動を展開しています。

震災からの復興について宝来館女将岩崎さんから伺った話でも、この釜援隊の果たす役割が大きいことが分かりました。

あじさい都市きたかみ公共交通網形成計画  
(岩手県北上市)

各地域コミュニティをあじさいの花にたとえたもので、



釜石市での視察の様子



北上市での視察の様子

それをつなぐものがこのシステムです。各地域の特性に合わせた工夫は、民間企業と競合しているとはいえ、本市の地域振興バスにも応用できるところが多く感じました。  
移住・定住促進施策「すまいる白石」(宮城県白石市)

当市は、仙台・福島への通勤が可能で、その利をPRし、市に転入し、新築住宅や中古住宅を取得した人に対して30万円、更に市内建設業者を利用した場合30万円を補助するものです。その他にも新婚家庭に2年間、月5千円の補助を行うなど、U・J・ター支援を行い一定の効果を上げています。空き家や仕事・暮らしなど情報発信、住宅フェアなどでの相談、移住支援センターや田舎暮らしのお試し住宅(2戸)を置くなどの工夫をしていました。

### 福祉教育委員会

平成29年10月11日～13日

#### 流山市民総合体育館 (千葉県流山市)

メイン、サブアリーナ、トレーニングルーム等を備えた施設で、豊かな森に囲まれた環境にあります。災害時には、市内最大の避難所として活用できるように計画されており、災害備蓄倉庫、3日間対応の受水槽等を備え、災害に対応することでした。

栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区  
(栃木県栃木市)

この地区は、面積約9.6ha、重伝建の選定は、平成24年7月9日でした。

地区の特性として、旧日光例幣使街道に面して近世に成立した町場として、江戸時代後期の状態をほぼ引き継ぐと



流山市民総合体育館  
(キックマンアリーナ)にて



栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区にて

考えられる地割を良好に残していることでした。

こころみ学園のワイン醸造場  
ココ・ファーム・ワイナリー  
(栃木県足利市)

有限会社ココ・ファーム・ワイナリーは、知的障がいのある人たちをはじめ、皆がいきいきと力を発揮できるようにつくられた会社であり、こころみ学園では、園生全員がワインづくりに携わります。

体を使い、汗を流し、自分にあつた役割をしているとのことでした。

鹿沼市こども総合サポートセンターについて  
(栃木県鹿沼市)

虐待や不登校など、発達に支援が必要な子どもに対し、家庭、教育等の各種相談をワンストップで行い、子どもの成長に合わせ就学前から就労へと切れ目のない支援を提供するとの説明でした。

政治家は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等の挨拶状を出すことが禁じられます。